

かんが えてみよう： 鎌倉時代の政治の特徴はなんだろう

空欄を埋めましょう！(Fill in the blanks！)

§1 執権政治

(1) 執権政治の開始

① 源頼朝の死後

→ 有力な御家人の合議による政治

※中心：源頼朝の妻**政子**と父**北条時政**

② 北条氏は執権の地位を独占…幕府の実権を握った

※北条氏による政治を(1 **執権政治**)とよぶ



▲北条政子

(2) 承久の乱

① 三代将軍**実朝**が暗殺された

→ 政治の実権を朝廷に取り戻そうとした後鳥羽上皇が拳兵=(2 **承久の乱**) (1221)

② 朝廷は幕府の大軍に破れる

→ 承久の乱のあと、鎌倉幕府の支配は全国に広がった

※(3 **御成敗式目**) = 武士の慣習や道徳に基づいた法律 が作られた(1232)

§2 蒙古襲来(元寇)

(1) (4 **蒙古襲来**) (元寇)

① 13世紀後半 モンゴル帝国

皇帝**フビライ**(**フビライハン**)は、国号を(5 **元**)と改めた

→ 日本を服属させようと、何度も日本に使者を送った

日本：執権(6 **北条時宗**)はそれを無視！

→ 元は、日本へ侵攻(invasion)



▲フビライハン

②(7 文永の役)(1274)

元は支配下の高麗軍とともに壱岐・対馬に侵攻

→ 九州北部の博多湾に上陸

元軍の集団戦法や(8 てつほう)などの武器に御家人たちは苦戦

→ 激しい戦いのすえに元軍を退ける

③(9 弘安の役)(1281)

博多湾に築かれた石塁と大量に動員された御家人の抵抗によって撃退

※『(10 蒙古襲来絵巻)』 ※絵巻 : picture scroll

二度にわたる戦いの中での御家人の奮闘や、その後の恩賞を求めて獲得するまでの苦労を描いている



▲蒙古襲来絵詞 (模本) (九州大学附属図書館所蔵)

(2) 蒙古襲来後の幕府の動き

幕府は三度目の侵攻を警戒 …九州の警護を強化するなど西日本における支配力を強化

→ 恩賞をめぐる御家人の不満は高まる

書いてみよう : 執権政治ばどのように成立したかまとめてみよう

(例) 源頼朝は、征夷大將軍になって、鎌倉幕府を開いた。しかし、頼朝の死後、政治の実権は、將軍ではなく、北条氏を中心とする有力な御家人たちが握った。三代將軍が暗殺され、源氏の將軍がいなくなった後、北条氏は、執権の地位を独占し、政治の実権を握った。この体制を、執権政治と呼ぶ。

キーワード : 源氏 征夷大將軍 源頼朝 北条氏 執権